

# 2016年3月期の総括 と 中期経営方針

代表取締役社長 兼 CEO 峰岸 真澄



# 2016年3月期 連結決算ハイライト

## 2016年3月期決算のポイント

### ■ 過去最高の売上高 / EBITDA

→1兆5,886億円、前年同期比+22.2% 5期連続の増収

→EBITDA2,022億円、前年同期比+5.7% 4期連続の増益

### ■ 主要3セグメントすべて増収

→販促メディア4.8%、人材メディア18.7%、  
人材派遣31.8%増収

### ■ 海外売上高比率 35.9%へ

→海外売上高5,700億円

→Indeed売上83.1%増

# 連結業績サマリー

売上高、EBITDAともに過去最高の実績。

(億円)	2015年3月期	2016年3月期		
	通期実績	5/13 期初公表 通期見通し*3	通期実績*4	前年同期比
売上高	12,999	15,500	<b>15,886</b>	+22.2%
EBITDA*1	1,914	2,010	<b>2,022</b>	+5.7%
売上高EBITDA率	14.7%	13.0%	<b>12.7%</b>	-2.0pt
営業利益	1,224	1,120	<b>1,140</b>	-6.9%
経常利益	1,256	1,170	<b>1,193</b>	-5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	697	650	<b>645</b>	-7.4%
のれん償却前当期純利益*2	1,075	1,125	<b>1,124</b>	+4.5%
一株当たり配当 (円)	47	50	<b>50</b>	—

\*1 EBITDA：営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

\*2 のれん償却前当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却額

\*3 想定為替レート：1米ドル=119円、1豪ドル=91円

\*4 期中平均為替レート：1米ドル=121.10円（前年同期実績は1米ドル=105.79円）、1豪ドル=91.07円

# 既存事業における連結業績

(億円)	2015年3月期	(参考) 2016年3月期		
	通期実績	5/13 期初公表 既存事業計画*1	通期実績*2	前年同期比
売上高	12,999	13,960	14,227	+9.4%
EBITDA	1,914	2,025	2,033	+6.3%

\*1 想定為替レート：1米ドル=119円、1豪ドル=91円

\*2 期中平均為替レート：1米ドル=121.10円（前年同期実績は1米ドル=105.79円）、1豪ドル=91.07円

## 当期に新たに業績寄与した主な子会社

P/L連結 開始時期	P/L連結期間	会社名	計上セグメント
第1四半期	12か月	Quandoo GmbH, Germany	販促メディア その他
	11か月	Peoplebank Holdings Pty Ltd	人材派遣 海外派遣
第2四半期	9か月	Chandler Macleod Group Limited	人材派遣 海外派遣
	7か月	Atterro, Inc.	人材派遣 海外派遣
第3四半期	6か月	Hotspring Ventures Limited	販促メディア その他
	6か月	Treatwell Holdings B.V.	販促メディア その他

# 中期経営方針 (2017年3月期～2019年3月期)

# 長期ビジョン

2030年

人材・販促領域 グローバルNo.1  
「サービス利用者数No.1」

2020年

人材領域 グローバルNo.1  
「雇用決定者数No.1」

## 国内事業の持続的な成長

### 競争優位性の向上

クライアント基盤/  
ユーザー基盤の  
拡大強化

### 新規事業の開発

ITを活用した  
新たな成長分野の創出

## 海外事業の更なる成長

### 既存事業の成長強化

ノウハウ移管による  
成長加速/収益性の改善

### M&A戦略

積極的なM&Aによる  
事業基盤の拡大強化

# 中期的な成長に向けた重点テーマ

## 海外事業の更なる成長

### 既存事業の成長強化

ノウハウ移管による  
成長加速/収益性の改善

### M&A戦略

積極的なM&Aによる  
事業基盤の拡大強化

Indeedの更なる拡大

## 国内事業の持続的な成長

### 競争優位性の向上

クライアント基盤/  
ユーザー基盤の  
拡大強化

### 新規事業の開発

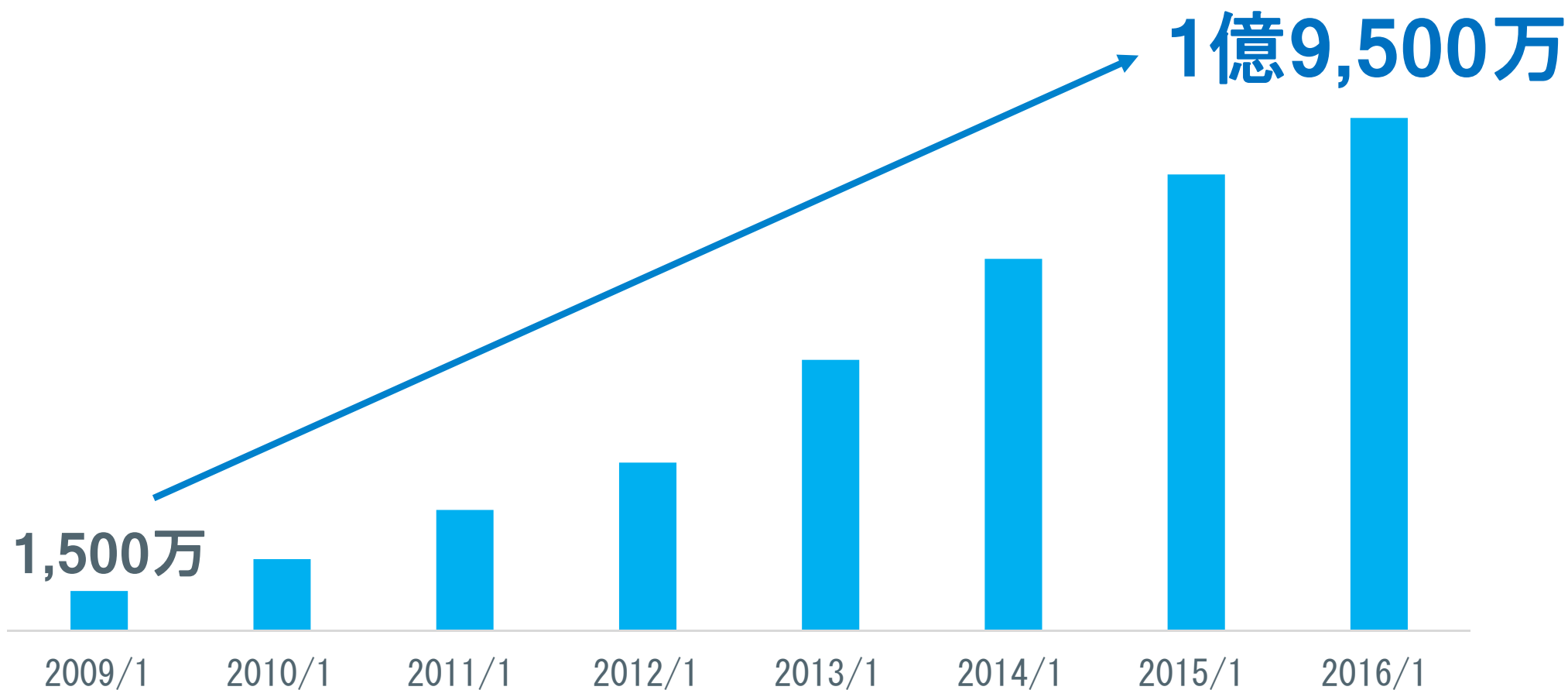
ITを活用した  
新たな成長分野の創出

Airシリーズ、スタディ  
サプリの成長・進化



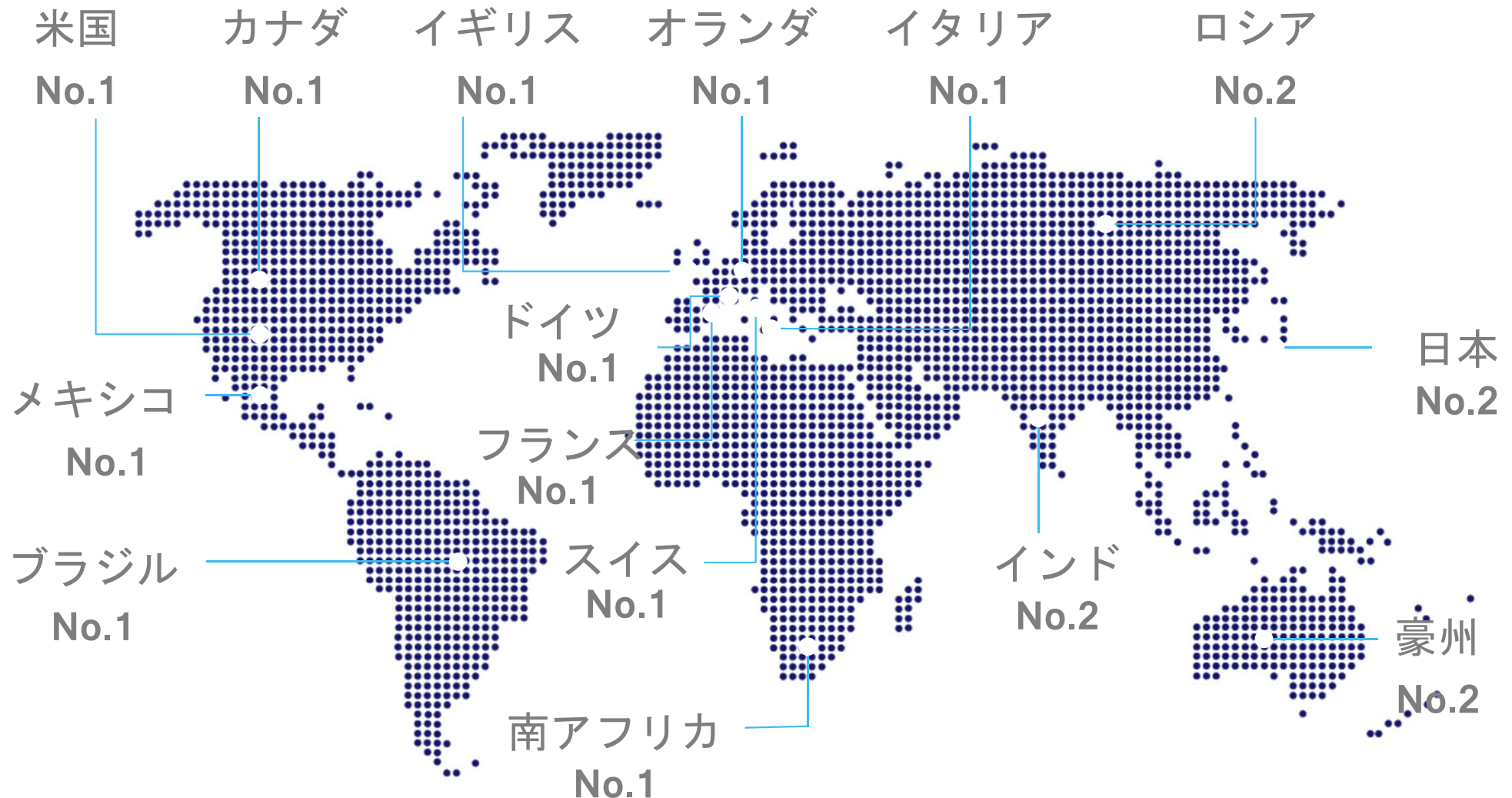
## Indeed 成長の軌跡（UV数の推移）

約2億人が使うインターネットサービスへ成長。



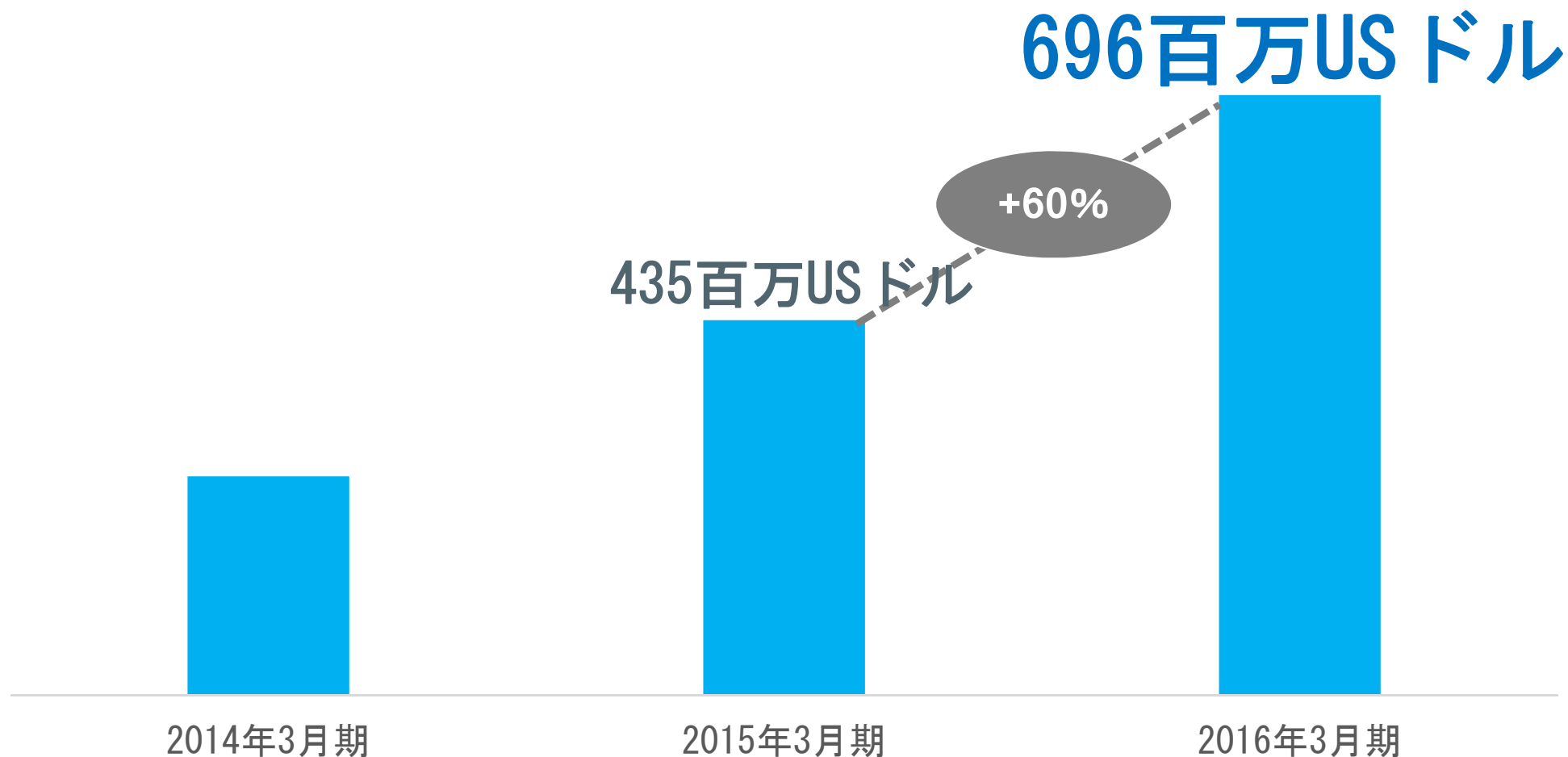
# Indeed 成長の軌跡（国別UV数ランキング）

各国において圧倒的なプレゼンスを獲得。



## Indeed 成長の軌跡（売上高の推移）

当年度は約60%の成長を達成。



## Indeed 今後の成長戦略

中長期的な成長の柱とするために積極的に経営資源を配分。売上高は3年後には最低2倍の規模に。

### ✓ 新規M&Aの検討

- ユーザーベース・クライアントベースを活かし、より幅広いHR領域におけるソリューション型ビジネスへの進出

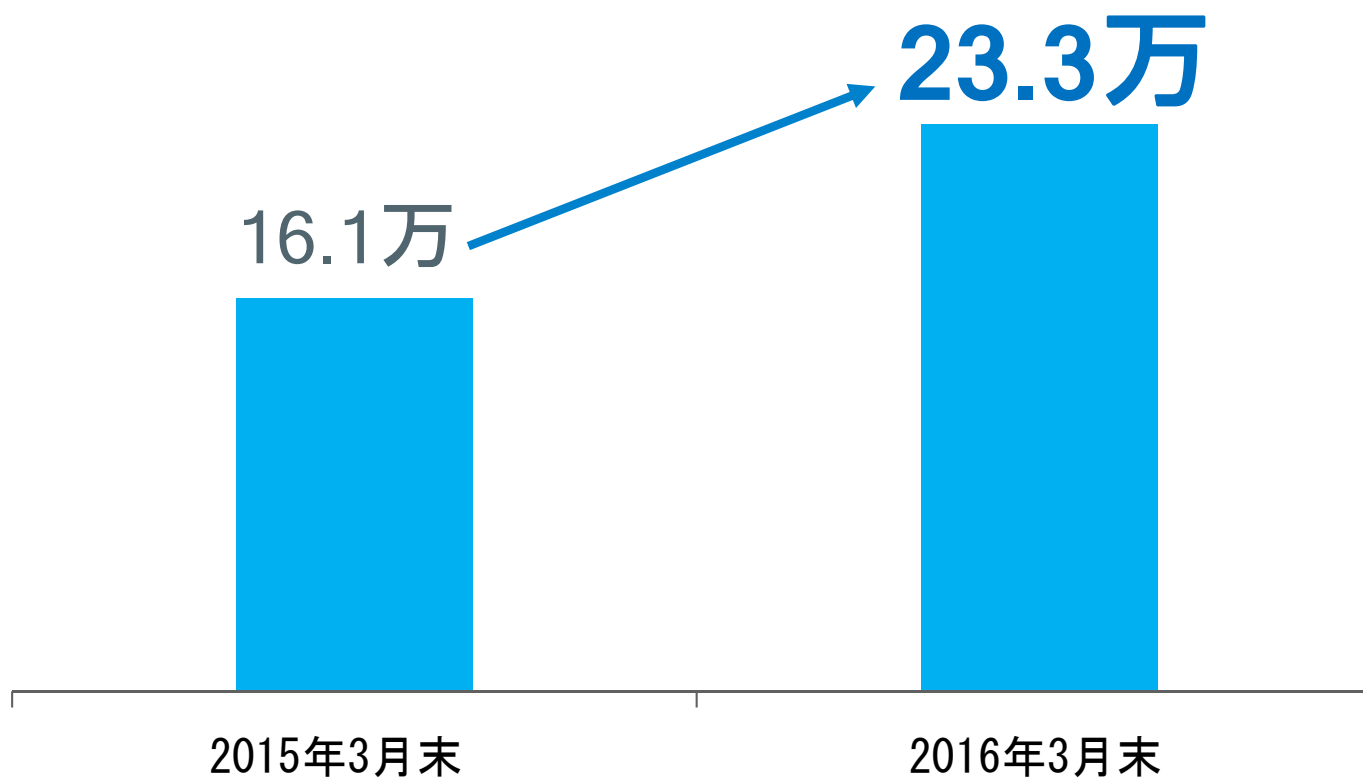
### ✓ 既存事業の成長強化

- USでのマネタイズ推進
- US以外での継続的なマーケティング投資強化

## Airレジ

Airレジアカウント数は順調に増加。

<Airレジアカウント数の推移>



# Airシリーズ

自前開発、提携により業務支援サービスの拡充を推進。

クライアントの業務フロー

	仕入れ	集客	予約/順番待ち 管理	注文/会計/売 上管理	決済
Airシリーズ		AirWALLET	AirRESERVE AirWAIT	AirREGI	New AirPAYMENT New モバイル決済 for AirREGI
自社 メディア との連携		HOT PEPPER Beauty ポンパレ	New Restaurant BOARD	New Restaurant BOARD	
他社サービ スとの提携	New 八面六臂 HACHIMENROPPPI New COREC New Royalchef	株式会社ネット印刷 ライフル		free 食コフリー CMFクラウド会計 弥生	Square New 支付宝 ALIPAY *1 New LINE Pay

\*1 Alipay/LINEpayについてはモバイル決算forAirREGIを通しての連携

# Airシリーズ

## 更にアップル社、ビックカメラ等とパートナーシップを展開。



無料POSレジアプリ『Airレジ』が、iPadとiOSをベースとしたビジネス支援ソリューションを加速

ビジネス支援

いいね! ツイート

2016年02月02日

株式会社リクルートライフスタイル



株式会社リクルートライフスタイル(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健、以下リクルートライフスタイル)が運営する無料のPOSレジアプリ『Airレジ』は、iOSプラットフォームを活用したサービス開発を一層強化していくことにより、お店にとっての利便性・機能性を高めていきます。今後は、中小企業向けのビジネス支援にとどまらず、大企業向けのビジネス支援にまでソリューションの提供を拡大していきます。

このたび、株式会社リクルートライフスタイルは、『Airレジ』の展開において米Apple社の新しいモバイルパートナーとなりました。『Airレジ』が、iOSプラットフォームを活用したサービス開発を一層強化していくことにより、『Airレジ』のユーザーは、iPad独自のユニークで新しい機能を、今まで以上に早く、簡単にお店の業務で使うことができるようになります。

株式会社リクルートライフスタイル執行役員の大宮英紀は、以下のように述べています。「私たちは米Apple社と緊密にやりとりをしながら、『Airレジ』『Airウェイト』などのサービスの拡大を加速させていきます。iOSを最優先の開発プラットフォームと位置付け、iPadユーザーがさらに便利に、そして使いやすく

(以下省略)

▲2016年2月2日発表のプレスリリース

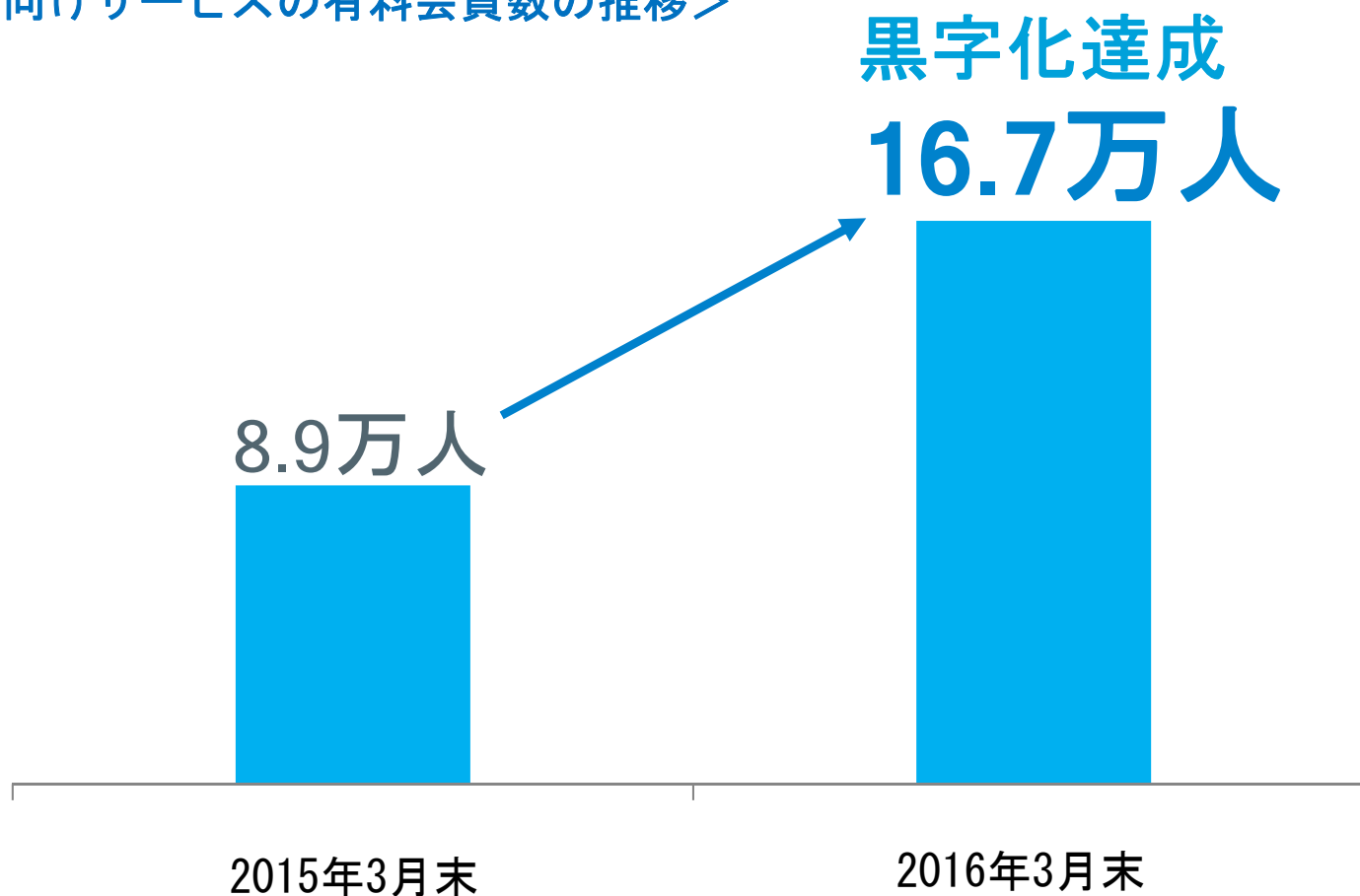


▲ビックカメラ有楽町店

## ■ スタディサプリ

高校生向けサービスは黒字化を達成。昨年リリースした小中学生向けサービスも順調に有料会員を獲得。

＜高校生向けサービスの有料会員数の推移＞





## ■ スタディサプリ

高校の副教材として利用され始め、  
学校教育そのものに貢献。

2015年3月末

2016年3月末

215 → 700

全国の高校 約 5,000 校

# 財務ポリシー

New

目標とする経営指標：調整後EPS:3年CAGR 1桁後半（2017年3月期～2019年3月期）

成長投資：中期的には、7,000億円の余力

借入の活用：国内A格を意識した水準

資本効率性：調整後ROE\*15%を目安

配当性向：のれん償却前当期純利益の25%を目安

# 2017年3月期通期見通し

# 連結業績見通し

(億円)	2016年3月期	2017年3月期	
	通期実績	通期見通し*1	前年同期比
売上高	15,886	16,900	+6.4%
EBITDA	2,022	2,170	+7.3%
売上高EBITDA率	12.7%	12.8%	+0.1pt
営業利益	1,140	1,215	+6.5%
経常利益	1,193	1,265	+6.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	645	615	-4.7%
のれん償却前当期純利益	1,124	1,105	-1.8%
一株当たり配当 (円)	50	50	—
調整後当期純利益	1,183	1,215	+2.7%
調整後EPS (円) *3	209.57	215.14	+2.7%

(参考) 2017年3月期 通期*2	
既存事業見通し*1	前年同期比
16,900	+6.4%
2,170	+7.3%

\*1 想定為替レート：1米ドル=115円、1豪ドル=81円（前年同期実績は、1米ドル=121.10円、1豪ドル=91.07円）

\*2 現時点では連結業績見通しと既存事業における連結業績見通しとが一致しております

\*3 定義についてはAppendixをご参照

# Appendix

## ■ 調整後EPSの定義

調整後当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益  
± 調整項目\*（非支配株主帰属分を除く）  
± 調整項目の一部に係る税金相当額

\*調整項目：企業結合に伴い生じたのれん以外の無形固定資産  
及びのれんの償却額 ± 特別損益

調整後EPS：調整後当期純利益 / （期末発行済株式数 - 期末自己  
株式数）